

倫理様式第 1 号
令和 2 年 12 月 1 日
承認番号 20-14

1 研究題目

アレルギー性気管支肺真菌症 第 2 回全国実態調査

2 研究の対象

尾道市立市民病院において診断されたアレルギー性気管支肺真菌症例の実態調査

3 研究目的

アレルギー性気管支肺真菌症 (ABPM) は、喘息患者の気道内に腐生した真菌に対する免疫・アレルギー応答により発症する慢性疾患である。日本医療研究開発機構 (AMED) 「真菌関連アレルギー性気道疾患の発症・憎悪予防を目指した体内・体外環境の評価と制御」研究班により新診断基準が作製され、これに基づいて診断された症例の全国実態調査実施し、症例の集積を行う。

過去にアレルギー性気管支肺真菌症 (ABPM) と診断された症例を後向きに解析する多施設後向き観察研究。

4 研究期間

倫理委員会承認後～2021 年 12 月 31 日

5 研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、体重、身長、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、投薬歴、身体所見、アレルギー性気管支肺真菌症診断項目、胸部X線写真、胸部CT 血液検査、生化学検査、免疫血検査、呼吸機能検査、治療内容、経過

6 研究責任者

呼吸器内科：片岡 幹男